

市報うんなん Jnnan

1
2025 No.242

特集
年頭のごあいさつ
(2ページ)

今月の表紙：子育て世代のつながりの場づくりに取り組む「はぐもぐ食堂」でのおもちつき開催

年頭のごあいさつ



雲南市長

石

飛

厚

志

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、令和7年の新春を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、グローバルな影響を受けながらも、雲南市市制施行20周年記念行事の開催をはじめ、市内ではさまざまなイベントや行事が盛況に開催され、市民の皆さんの心をひとつにする貴重な機会となりました。合併21年目を迎える令和7年が、さらに雲南市の魅力が広がる明るい1年となるよう願うところです。

昨年12月には、雲南市の、今後10年間のまちづくりの目標と方向性を示す「第3次雲南市総合計画」を策定しました。

雲南市には、「人と人とのつながり」、「自然と調和した暮らし」、「豊かな歴史と文化」など、先人から受け継いだ魅力があります。こうした魅力を次世代につないでいく、そのためには新しい発想で変えるべきものを変えていくため「変わらず、変

える」という言葉を基本理念としました。

また、将来像は「えすこな 雲南市」とし、[Well-being for all UNMAZ] みんなが幸せに暮らせるまち、をめざし今後も持続可能なまちの実現に取り組んでまいります。

昨年4月から木次線への乗り入れが始まった観光列車「あめつち」の運行については、市内各種団体による出迎え、沿線の皆様による手振りで歓迎していただき大変好評を得ることができました。木次線の周遊観光や情報発信に引き続き取り組み、利用促進に努めてまいります。

あらゆる世代がいきいきと心豊かに暮らし続けていくため、住宅施策やUターン施策の推進をはじめ、人権意識の向上やスポーツ・文化の振興なども図ってまいります。

令和3年に発生した災害からの復旧事業は、完了に向けて着実に進捗しています。また長年にわたり改良工事が進めら

れてきた大東地内の主要地方道松江木次線の改良工事は、本年度中の完成が見込まれ、国道54号の拡幅工事とビジネスホテルの建設についても順調に進展しており、地域の活性化に期待が寄せられます。そして、本年3月には、国と市が協力して行ってきた斐伊川の河川敷公園の整備が完了し、共に桜の季節を迎えることを楽しみにしております。

令和7年の十二支は巳年で、再生や変化を繰り返す柔軟に発展していく年だと言われております。

新しい年を迎え、これまでの歩みを大切にしながら、変化に柔軟に対応し、市民の皆様とともに一歩一歩力強くまちづくりを進めてまいりますので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝、ご多幸をお祈りして、年頭のごあいさついたします。



雲南市議会議長

松

林

孝

之

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、ご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年、雲南市議会では選挙を経て新たに19人の議員が誕生し、11月28日の臨時会にて議長、副議長および常任委員会の構成が刷新され、第6期目がスタートいたしました。このたび私が議長に就任することとなり、その責任の重さを深く感じております。市政の発展と議会のさらなる活性化に尽力する所存ですので、皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は能登半島地震や豪雨災害など、全国で多くの自然災害が発生しました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、県内では島根原子力発電所2号機が再稼働しました。市議会としても安全確保を最優先に、中国電力株式会社へ働き掛けてまいります。

一方、雲南市は市制施行20周年を迎え、記念式典では初代市長への名誉市民顕彰や特別感謝状の贈呈が行われました。また、新たな「第3次雲南市総合計画」を策定し、「えすこな 雲南市」を未来像として掲げ、持続可能なまちづくりへ向けて次のステージへと進んでいます。また令和元年から議会ICT化を推進しタブレットを導入してきましたが、昨年6月定例会から完全ペーパーレス化を図り、コスト軽減、効率化、省エネルギー化を実現しました。さらに、今後は議会のデジタル化の一端として、不測の事態にも対応するためのオンライン会議システム

の導入も視野に進めてまいります。人口減少や少子化・高齢化といった課題に立ち向かいながら、市議会としても「雲南市議会基本条例」に則り、開かれた議会運営をめざし、改革を進めてまいります。

本年の干支は「乙巳」です。巳は脱皮を繰り返す象徴とされ、再生や柔軟な発展を意味します。この精神のもと、雲南市がさらに成長を遂げる一年となるよう尽力いたしますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



雲南市議会 議会構成

【問】議会事務局 Tel 0854-40-1004

雲南市議会臨時会を令和6年11月28日（木）に開催し、次のとおり議会構成を決定しました。

種 別		員数	氏 名（◎委員長　○副委員長）					
議 長		1	松林 孝之					
副 議 長		1	原 祐二					
監 査 委 員		1	中村 辰眞					
議会運営委員会		6	◎矢壁 正弘 梶谷 佳平	○石原 忍 上代 和美	多賀 法華	安田 栄太		
常任委員会	総 務 常 任 委 員 会	6 (7)	◎梶谷 佳平 原 祐二	○石原 忍 佐藤 隆司	渡辺 重光	後藤 昭三		
	教育民生常任委員会	6	◎上代 和美 福間 守	○多賀 法華 中村 辰眞	竹部 貴博	吾郷 希穂		
	産業建設常任委員会	6	◎安田 栄太 中林 孝	○廣野 祐二 矢壁 正弘	原 良太	高橋美佐子		
特別委員会	議会広報広聴特別委員会	8	◎多賀 法華 廣野 祐二	○原 良太 渡辺 重光	吾郷 希穂 後藤 昭三	石原 忍 原 祐二		
	予算審査特別委員会	18	◎中林 孝	○高橋美佐子	（議長を除く全議員）			
	島根原子力発電 対策特別委員会	7	◎梶谷 佳平 渡辺 重光	○福間 守 高橋美佐子	吾郷 希穂 中林 孝	石原 忍		
事務組合等	雲南市・飯南町 事務組合議会議員	6	竹部 貴博 原 祐二	福間 守 松林 孝之	後藤 昭三	安田 栄太		
	雲南広域連合議会議員	7	廣野 祐二 矢壁 正弘	渡辺 重光 佐藤 隆司	多賀 法華 松林 孝之	上代 和美		

同臨時会において次のとおり各委員についても議会から任命・選任の同意を得ました。

【問】教育総務課 Tel 0854-40-1071・監査委員事務局、公平委員会事務局 Tel 0854-40-1005

種 別	氏 名
教 育 委 員	菅原 純子
監 査 委 員	渡部 彰夫
公 平 委 員 会 委 員	勝部 新治 岡田 志保 中川 修一

同臨時会において選挙により次のとおり選出されました。

【問】選挙管理委員会 Tel 0854-40-1090

種 別	氏 名
選 挙 管 理 委 員 会 委 員	石飛 安弘 井田 眞子 金森 憲古 梶鳥 瑞恵

雲南市議会議員一般選挙 選挙結果・議員紹介

【問】選挙管理委員会 Tel 0854-40-1090、議会事務局 Tel 0854-40-1004

任期満了に伴う雲南市議会議員一般選挙が令和6年11月10日に告示され、定数19に対し21人が立候補しました。

これにより、11月17日に雲南市議会議員一般選挙の投開票が行われ、選挙結果は次のとおりでした。

掲載内容

議席 番号	氏 名	写 真	出身町	当選回数	党 派
1	竹部 貴博		三刀屋町 ①	36 歳	無所属
2	原 良太		大東町 ①	42 歳	無所属
3	吾郷 希穂		大東町 ①	43 歳	無所属
4	福間 守		大東町 ①	48 歳	無所属
5	石原 忍		大東町 ①	58 歳	無所属
6	廣野 祐二		木次町 ①	64 歳	無所属
7	渡辺 重光		掛合町 ①	65 歳	無所属
8	後藤 昭三		三刀屋町 ①	66 歳	無所属
9	高橋美佐子		大東町 ①	68 歳	無所属
10	多賀 法華		三刀屋町 ②	45 歳	無所属
11	安田 栄太		大東町 ②	48 歳	無所属
12	梶谷 佳平		加茂町 ②	69 歳	無所属
13	上代 和美		大東町 ③	66 歳	日本共産党
14	中林 孝		加茂町 ③	70 歳	無所属
15	中村 辰眞		木次町 ④	60 歳	公明党
16	矢壁 正弘		大東町 ④	67 歳	無所属
17	佐藤 隆司		木次町 ⑤	63 歳	無所属
18	原 祐二		三刀屋町 ④	62 歳	無所属
19	松林 孝之		加茂町 ④	59 歳	無所属

◆投票者数、投票率

	投票者数	投票率
雲南市議会議員一般選挙	20,676人	69.64%

※選挙当日有権者数は29,688人です。

加茂B&G海洋センターラソンテ

小中学校の水泳授業の利用に伴う

プール施設の利用制限

近年の熱中症警戒アラートの発生状況や学校プール施設の老朽化などを踏まえ、令和7年度から市内の小・中学生の水泳の授業は、加茂B&G海洋センターラソンテの屋内プール施設を利用して実施します。

これに伴い、授業でプールを利用している時間帯は、プール施設の利用ができなくなります。

利用される皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。



制限期間など

- 制限対象：すべてのプール施設
※25mプール、幼児用プール、歩行用プール、リラクゼーションプール
- 期 間：5月12日（月）～9月30日（火）
※7月18日（金）～8月31日（日）は夏休み期間中となるため終日利用できます。
- 日 時：月曜日～金曜日 9:00～13:00



そ の 他

- アリーナ、トレーニングルーム、会議室など、プール以外の施設の利用制限はありません。
- 期間中の更衣室の利用は、児童生徒とはスペースを区切って利用することとします。



【問】スポーツ文化振興室 Tel0854-40-1073

脱炭素に向けたブレスト会議 開催

雲南市のエネルギー転換に向けたブレスト会議（アイデアを出し合う会議）を11月12日（火）に木次経済文化会館チェリヴァホールで開催し、事業者、高校生、関係者を含む約50人が参加しました。

冒頭の基調講演では、NPO法人おっちらボ副代表理事の白石草二さんよりさまざまな発電方法や課題、小水力発電の可能性について講演いただき、感想や気付いたことを参加者同士で意見交換しました。

続いて、4人の参加者からエネルギー転換に向けての取り組み事例や課題について紹介いただき、それぞれのテーマのグループに分かれ、アイデアを出し合い、全体で共有しました。



基調講演の内容について意見交換をする様子

会議に参加された皆さん



【問】環境政策課 Tel 0854-40-1033



よしやま
おさむ

吉山 治 副市長 退任

令和6年12月8日付けで吉山治副市長がご退任されました。以前には雲南6町村合併協議会の事務局次長として着任され、「雲南市」発足に向けて多大なるご助力をいただきました。その後、松江市副市長、島根県東京事務所長、島根県市長会事務局長を歴任され、令和2年12月9日に雲南市副市長として就任。各関係機関との連携・調整を円滑に図り、各種プロジェクトチームの立ち上げなど、市民と行政の協働をもとに庁内外での協力体制の構築にご尽力されました。



トロッコ列車 奥出雲おろち号 の座席を設置しています

出雲大東駅で、令和5年11月に引退したトロッコ列車「奥出雲おろち号」で実際に使用されていた座席を展示しています。

26年間暑い日も、寒い日も、雨の日も木次線を走り続けてきたため、座席のあちらこちらに頑張って走ってきた証が見られます。

実際に座席に座ると、車窓の景色や、線路を走る音、たくさんの人とのふれあいなどが思い起こされます。

ぜひ、出雲大東駅にお越しいただき、ご覧ください。

設置期間 3月31日（月）まで（予定）

設置場所 出雲大東駅 駅舎内



今後の展示をはじめ、木次線の情報をInstagramで発信しています。ぜひフォローしてください。



Instagram

●●● 【問】木次線利活用推進協議会（交通政策室） Tel 0854-40-1014 ●●●

day2

イート ローカル ※

Eat Localななりわいをつくる

宮内舎 小倉綾子さんから農地・山の案内を、広島県竹原市「田万里家」の井本喜久さんから「限界集落を農の力で再生する事業」のお話を伺いました。

※Eat Local:その土地でつくられた食べ物をその土地で消費すること。



街並みをデザインするDIT

中澤建設／KILTA雲南の中澤太輔さん、工務店「アトリエ結」を講師に、本次の街中にある空き家を皆で活用できるスペースにするため、参加者全員でDIT (Do It Together)を行いました。市内からの参加者も多く、壁面塗装などを中心に交流しました。

※DIT:空間を協力し合って共につくること



阿用収穫祭

大東町阿用地区「田舎米づくり体験」の収穫祭に参加し、地元の皆さんと交流を深めました。



day3

会話とWell-being



木次町斐伊地区のお祭りに、コミュニティナースの方々と共に参加しました。近所の方を訪問してコミュニティナースの現場も学びました。

※Well-being: 身体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態

デジタルと地域と子どもたち

木次町のピコテラスで行われたイベントに参加しました。子どもたちがデジタル機器を使って作った作品を紹介いただきました。



参加者の方からのコメント

全体を通じて地元の方や文化に触れる機会がとても印象的でした。地域が個を支える取り組みやチャレンジを支援する仕組みを通じて、大人の方が自分の背中を見て育つ存在がいることに自覚をもっていることも大きいと体験を通じて感じました。

実際に木を伐採する現場やたたらなど、通常では立ち入ることができない場所を見せていただくことで、数百年の歴史の営みを感じることができました。

主催：政策推進課 企画・運営：NPO法人おっちらボ
【問】政策推進課 Tel.0854-40-1011

「やおよろずの“変人”迎え祭」を開催しました

10月
25日金～
27日日

市では、地域の未来をつくる次世代を発掘・育成する取り組みとして、地域課題解決やまちづくりにつながる起業や新規事業づくりを応援しています。

その一環として、まちづくり実践者のための学び合いのコミュニティ「Seedラボ」を運営し、7つのテーマを設け、勉強会や企画の実践などを行っています。今回は、Seedラボの集大成として「やおよろずの“変人”迎え祭」を開催し、北は北海道、南は熊本県から、26人の方々が参加しました。

Seedラボの7つのテーマを3日間かけて体感してもらい、地域の方と参加者が混ざり合う3日間となりました。参加者は、自身の地域に思いを馳せつつ、地域の方と混じり合いながら、雲南らしさをじっくり堪能しました。一部の参加者はイベント終了後も継続的に雲南市のまちづくりに関わっていただいています。

day1

雲南市のこれまで

雲南市が歩んできた歴史や、チャレンジの文化について参加者に説明しました。県外からの参加者からも質問が多く挙がり、より深く雲南を理解できる場となりました。



里山ツーリズム×森の育て

かみくの桃源郷にて、森林浴体験や木の伐採見学と搬出、木のスプーン作成などを体験しました。

※里山ツーリズム:里山の自然やその地域の文化・人々とのふれあいを楽しむ旅行



星空レストラン

KANUKA PARKの鹿糠俊二さんにお越しいただき、参加者の目の前で猪肉を調理いただきました。たき火を囲み、語り合うことで一日の振り返りを行いました。



たたら製鉄を巡るガイドツアー

重要有形民俗文化財である当時の製鉄施設や、たたらで栄えた街並みを訪ね、当時の営みをご紹介いただくツアーも開催しました。



「尾道松江線」全線開通10周年記念式典

11月4日、中国横断自動車道「尾道松江線」全線開通10周年を記念して広島県三次市で記念式典が開催されました。

祝賀行事として三次東JCT付近で植樹式が行われ、雲南市は「笹部桜」の苗木を植樹しました。

式典の後には「中国やまなみ街道沿線ネットワーク会議」主催のシンポジウムが開催され、沿線の観光関連の施設・団体関係者約200人が集まりました。全線開通後の観光・産業への効果や山陰・山陽を結ぶ交通のより一層の活用に向け、意見が交わされました。



▲沿線自治体の首長らによる「繋がろう」コール

市内からの出品牛2年連続グランドチャンピオン 島根中央子牛共進会

10月25日、島根中央子牛共進会が島根中央家畜市場（松江市）で開催されました。島根県東部から36頭の雌子牛が出品され、雲南市からは6人の皆さんに雌子牛を出品いただきました。

審査の結果、門脇久幸さん（大東町）の「さち号」が第1区の首席を受賞し、さらに第1区・第2区を合わせた総合1位のグランドチャンピオンに輝きました。

門脇久幸さん（大東町） さち号／グランドチャンピオン（総合1位）
第1区優秀賞首席／第1区特別賞：部位賞（品位の部）



▲門脇久幸さんと「さち号」

吉田小学校創立150周年記念式典

11月9日、吉田小学校創立150周年記念式典が吉田小学校で開催され、児童、保護者、地域の方など約100人が出席しました。

記念事業実行委員会 藤原文雄委員長は、地域や関係者に感謝の言葉を述べ、「今後も吉田小学校が未来に続くよう一層のお力添えをお願いします」と主催者代表あいさつを述べました。その後、藤原委員長より糸賀昌幸校長と代表児童2人に記念品が贈呈され、続けて糸賀校長は「学校が地域社会に愛され、信頼される場であり続けるよう全力を尽くす」と述べられました。



▲記念式典に参加された皆さん

ジェンダーギャップの解消について考える 雲南市男女共同参画シンポジウム

10月27日、令和6年度雲南市男女共同参画シンポジウムを木次経済文化会館チェリヴァホールで開催しました。

基調講演では、前兵庫県豊岡市長の中貝宗治さんに「なぜジェンダーギャップの解消が必須なのか 一女性に選ばれないまちと企業と地域に未来はない」と題し、国内外から注目されている豊岡市での取り組みについて講演いただきました。その後、市内事業所などから5人が登壇し、雲南市の現状について意見交換を行いました。



▲講演する中貝さん

第9回尾原ダムさくらおろち湖 湖上花火開催

11月9日、尾原ダムさくらおろち湖湖上花火が「さくらおろち湖で花火打ち揚げ隊」（隊長 亀山幹生さん）の主催により、さくらおろち湖周辺で開催され、市内外よりたくさんのお客さんが訪れました。

子どもたちのカウントダウンで打ち上げられた花火は湖面を彩り、お客さんからは歓声や「きれい」といった声が上がっていました。

また当日は音楽イベント「UNNAN MUSIC FESTIVAL」など3つのイベントも同時開催され、午前から一日中にぎわいました。



▲さくらおろち湖の湖上を彩る花火

加茂中2年生が赤ちゃんとのふれあい体験

10月30日、加茂中学校2年生40人は児童福祉の学習の一環として7組の親子をはじめ、母子健康保健推進員、子育て支援センター職員などの専門家を加茂中学校体育館に招き、赤ちゃんとのふれあい体験を行いました。生徒たちは、保護者や専門家に教えてもらいながら赤ちゃんを抱っこしたり、あやしたりしたほか、保護者から赤ちゃんのことや子育てについて話を聴きました。

その後は、雲南市の保健師から児童福祉の歴史や行政の取り組みの説明を聴き、クイズを通して、子どもの権利などについて学びました。



▲赤ちゃんを抱っこする生徒

西日登小学校開校150周年記念イベント

11月10日、西日登小学校開校150周年記念イベントが西日登小学校で行われ、児童、保護者、地域の方など約200人を超える方々が参加しました。

西日登小学校の開校記念事業は、地域の方と共に祝えるよう、地域の方を招いて、5月に運動会、7月に開校記念集会を開催されてきました。開校150周年記念イベントでは、「児童が開校150周年に向けて制作した動画の視聴」と「復元した西日登小学校旧校歌の披露」などが行われ、児童と地域の方々とともに新旧の校歌を斉唱しました。



▲校歌を斉唱する在校生たち

松笠ご縁の館10周年記念特別公演 松笠歌舞伎の特別公演（松笠ご縁の館市）

11月4日、松笠ご縁の館市が松笠交流センターで開催され、地域内外から多くのお客さんが来場しました。

館内では、金築朋子さんによる音楽健康講座、路上詩人こーたさんによる書道パフォーマンスが披露され、最後には雲南市合併20周年・松笠ご縁の館開館10周年を記念して松笠素人芝居「松笠歌舞伎2024」が披露されました。

また会場では、松笠そばや手作り料理、地元野菜などの出店があり、来場者はグルメや買い物を楽しみました。



▲演目「御目見得だんまり」

掛合に灯るイルミネーション★ かけイルミ2024点灯

地域自主組織「掛合自治振興会」が主催し、学校を始めさまざまな団体と協力して開催される「かけイルミ」。8年目を迎えた今年は「ちいさな町の手作りイルミネーション」と題して実施されています。

11月30日、その点灯イベントが道の駅掛合の里緑地公園で行われ、市内外よりたくさんのお客さんが訪れました。点灯カウントダウンでは、会場の皆さんでカウントダウンを行い、イルミネーションが点灯した際には拍手や歓声が上がりました。

点灯期間 1月6日（月）まで 17:30～22:00



▲イルミネーションを楽しむ来場者たち

寺領小学校開校150周年記念式典

11月10日、寺領小学校開校150周年記念式典が日登交流センターで開催され、全校児童、保護者や地域の方など約250人が参加しました。

主催者である記念事業実行委員会 佐藤弘之実行委員長が学校の歴史などに触れ、「長い歴史を振り返ると先人の努力と苦労が歴史と伝統を積み重ねてきました。寺領小が地域の中心で輝き続けることを願います」と話されました。その後、児童代表6人が学校の良い点や思い出などを発表し、続けて全校児童で校歌を斉唱しました。



▲校歌を斉唱する在校生たち

社会福祉チャリティー 第18回雲南市民歳末余芸大会開催

12月1日、第18回雲南市民歳末余芸大会を三刀屋文化体育館アスパルで開催し、約1,000人が来場しました。

19組の団体・個人が歌や踊りなどを披露したほか、お楽しみ抽選会も行われ、観客を楽しませました。

特別出演として、少年の主張全国大会で奨励賞を受賞した^{たもと}田本怜花さん（木次中学校）が「つながりの中に生きて」を朗読され、続けて石飛市長によるウクレレの弾き語りが披露されました。

なお、この大会の収益金は、市内の社会福祉事業に活用されます。



▲三刀屋保育所の園児による太鼓演奏

スペシャル!雲南☆まいもんの日 学校給食で雲南市合併20周年をお祝いしました

市内の学校給食では、月に1回、「雲南☆まいもんの日」を定め、市内産食材を特に多く使用した献立を提供し、食育と地産地消の推進をしています。

11月13日、市制施行20周年を記念し、プレミアムつや姫たたら^{ほむらまい}燐米や吉田町で生産されたオロチノツメと市内産の赤ワインを入れたソースをかけた奥出雲和牛のサイコロステーキ、市内中学生が考案した野菜の和え物など雲南市産の食材をたくさん使用した5品などの特別献立を提供しました。



▲特別献立の給食を食べる児童（吉田小学校）

児童が“食”と“職”を学習! 「味覚の一週間」[®]の授業が加茂小で開催されました!

11月13日、味わう楽しみや食文化と向き合う食育活動「味覚の一週間」[®]の「味覚の授業」[®]が「味覚の一週間」[®]実行委員会島根県支部の主催により加茂小学校で開催され、5年生約50人が参加しました。

授業では^{フー}Food ^{マリコ}Marico ^{うた}上田まり子代表取締役と^の松江しんじ湖温泉^のにわー水の板前^の野津卓也さんが講師となり、児童は鰹と昆布でとっただしや島根県産の食材などを味見し、舌で感じる味や味と嗅覚の関わりについて学んだほか、仕事をするうえで大切なことなどの話を聴きました。



▲調味料を味見する児童

田井小学校開校150周年記念式典

11月16日、田井小学校開校150周年記念式典が田井小学校で開催され、児童の保護者、地域の方々、関係者など約150人が参加しました。

記念事業実行委員会 ^{かわすみかす}川角和人委員長は「小学校は地域にとって中心であると考え、連携して子どもたちの成長の手助けになればと思っています」と主催者代表あいさつを述べ、続けて記念品の目録を横田輝昭校長に贈呈しました。後半からは児童も出席し、学習発表会が行われたほか、会場全体で「田井の四季」と校歌の斉唱、児童への記念品贈呈が行われました。



▲「田井の四季」を斉唱する在校生と参加者

雲南コミュニティ ハイスクール vol.33 U C H ! 高校生ニュース

このコーナーでは、日本一チャレンジに優しい教育環境で学ぶ市内高校生の姿を伝えていきます。今回は、雲南式探究プログラム^{*}での高校生の姿をお知らせします。

※市内3高校で取り組む、自分を知り、地域（他者）から学び、社会（誰か）のために行動することを体感するプログラム

大東高校1年生52人と三刀屋高校1年生154人は、11月に市内で働く社会人の皆さん計27人を迎え、多様な地域の大人の価値観に触れ、深く知ることを通じて、地域や多様性について考える「ゲストトーク」に臨みました。

高校生の声

- 普段知ることができない大人の方々の価値観を知り、自分の中の価値観と照らし合わせて聞くことができました。ゲストの方の仕事内容に魅力を感じたので、進路選択の一つの候補になりました。
- 仕事には大きな責任が伴うことと同時に多くのやりがいがあることを知って、仕事をするのが楽しみになりました。今の学校生活を大事にして将来に生かしていけるようにしたいです。



▲高校生に想いを伝えるゲスト

教員の声

- ゲストの方々が人生の経験の中で感じた苦労や失敗談を聞いて、今後の進路や人生において一歩踏み出す勇気につながったのではないかと思います。

参加した社会人の声

- 高校生と接する機会がなく、少し不安な気持ちもありましたが、いろんな質問もしてくれて楽しかったです。自分のやりたいことや思いを持っている高校生が多くて、頼もしく感じました。
- 大人になり自分を振り返る時間はなかったもので、とても良い機会となり、高校生からたくさんのパワーをもらいました。高校生の姿は地域を勇気づけることにつながるので、これからも全力で高校生生活を充実させてください。



▲高校生とゲストの対話の様子

フォーカス FOCUS



病院では毎年さまざまな職種のスタッフが入职し、働いています。これからたくさんの知識と経験を積み、雲南市立病院というステージで患者さんのために活躍していく新入職員にフォーカスし、それぞれの担当業務や仕事への思いなどを紹介します。

新入職員紹介

住民の皆さんが健やかに自分らしく生活できるように支援できる保健師をめざして

保健推進課 保健師

あがみゆ
阿川 美優

入職1年目

保健師をめざしたきっかけは？

幼い頃から病院に行くことも多く、医療職に就きたいと思っていました。

保健師をめざそうと思ったきっかけは、看護実習の時に、「早く病院に行っていればよかった」、「健康に気を付けておけばよかった」という患者さんの声を聞いたことです。そして、その前段階である予防に携われる仕事をしたいと思い保健師をめざしました。

雲南市立病院の魅力はなんだと思いますか？

健康診断を受けた当日に保健指導があり、必要があれば直接受診につなげることができることであると思います。検診を受けることだけでなく、その後も大事であるため、医療が必要な人をつなげることができる環境があることは魅力の一つであると思っています。

仕事には慣れましたか？

入职して7ヵ月があっという間に過ぎました。分からないことばかりで勉強の毎日です。この7ヵ月で健診業務をはじめ、健康教室や出前講座などの経験をし、その中で先輩方からさまざまなことを教わり、仕事に慣れていくことができました。



採血の様子



問診の様子

職場の雰囲気はどうですか？

明るく、和気あいあいとした雰囲気です。楽しく仕事をしています。

分からないことも聞きやすく、何か課題があると課内で話し合い、解決できる環境が整っており、とても働きやすいです。

仕事をするうえで嬉しかったことはありますか？

健康教室や出前講座で参加者の方が満足そうに帰れたときや、健康に少しでも関心をもってもらうことができたときはとてもうれしいです。

今後の目標を教えてください

保健指導はまだしていませんが、今後指導していく上で、対象者が少しでも自分の健康に興味をもち、健康の維持・増進できるように支援できるようになることが目標です。

私のとある一日

- 8：30 出勤
健診業務（問診）
- 12：00 休憩
- 13：00 集団予防接種準備
（インフル・新型コロナ）
- 13：30 集団予防接種（前半）
- 15：00 集団予防接種（後半）
- 16：15 片付け
事務作業
- 17：15 退勤



新年のごあいさつ

病院事業管理者
おおたに 順

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、日頃より当院へのご理解とご支援を賜り、有難うございます。新年を迎えるにあたり、ごあいさつ申し上げます。

今年は、「2025年問題」に向けて国が進める地域医療構想の目途の年を迎えます。地域全体で適切な医療体制の整備が進んでいますが、すでにその先にある「2040年問題」も見据える必要が出てきました。2025年問題は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、医療・介護の必要度が急増するという課題ですが、2040年問題は、人口減少と少子高齢化がさらに進み、医療・介護を支える現役世代の働き手が減少すること、社会全体の持続可能性が問われるという課題です。言い換えれば2025年問題は「医療・介護の受け皿づくりの問題」、2040年問題は「医療・介護の支え手確保の問題」とも言えます。

こうした変化は皆様の日々の生活にも少なからず影響を与えます。特に、地域での支え合いや健康管理の意識を高め、生活の質を保ちながら医療資源を賢く使うことが求められるでしょう。

生活の質と言えは、近年「ウェルビーイング」という言葉が随所で見聞きされるようになってきています。これは個人の健康や幸福、生活の質を総合的に捉える概念で、住民が幸福を感じることでできる地域には人が住み続け、移住も期待できるということから、少子高齢化、人口減少への対策としても注目されている概念です。これは日本語に置き換えると「いい塩梅」ということでしょうか。

当院では、昨年4月に「雲南市未来型連携推進センター」を設立しましたが、このセンターの目的は、市内の医療、介護に携わる施設やスタッフを有機的に結び付け、医療・介護の狭間に誰一人取り残されないための仕組みづくりをすること、まさにウェルビーイングの実現に取り組み部署です。

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって、良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震から始まり、8月の宮崎県で発生した地震に伴い南海トラフ地震の臨時情報が発表されました。また台風、災害級の豪雨で、日本各地で大きな混乱と被害が生まれました。このような自然災害は、いつ我が身に降りかかるかわかりません。出雲の神様が守ってくれるはずですが、我々も日頃からの災害への準備、防災の意識が必要です。

事故は病院施設・設備の改善で最小限にできます。当院はさらに施設・設備の改善を進め、患者様へ安全・安心な療養環境を提供できるように努めます。一方、医療過誤は、人為的な単純なミスによる事故で、注意していれば防げた、正規の方法で行えば発生してはいないはずの事故です。発生すると病院の信頼が揺らぎます。我々、医療従事者のミスは最小限にする工夫と、ミスをしても人的被害が出ないよう修正できる体制づくりが必要です。そのシステムが医療安全体制です。当院は現在、その医療安全体制を、島根大学附属病院やその他の第三者機関のご協力、ご助言をいただきながら、改善・改革を進めています。



院長

にし

英

あき

総合診療医が答える
「こんな症状や疑問 持っていませんか？」
 第52回：「スマートフォンの使い過ぎは心臓病になりやすい」
 このシリーズでは総合診療医が患者さんからいただいた質問をもとに市民の皆さんが困っている症状や疑問について解説します。

先日いただいた質問はこれです。

「スマートフォンの使い過ぎは、健康に悪いですか」

現在、スマートフォンの普及は圧倒的で、日本の人口の90%以上がスマートフォンを所有しています。一方で、その使用が健康にどのような影響を与えるのかは明らかになっていませんでした。

実は、最近の研究では、
「スマートフォンの使い過ぎが、心臓病につながっている可能性があること」
 が明らかになっています。

スマートフォンの使い過ぎによって、睡眠時間やその質の低下、精神的ストレスの増加、神経衰弱につな

がるのが原因のようです。これは若年や中年の方だけでなく、高齢の方にも当てはまるデータのようにです。さらに、スマートフォンの使い過ぎは運動量の低下にもつながり、心臓病以外の慢性疾患にもつながりそうですね。

スマートフォンはとても便利ですが、自分の健康を考えながら、健全な使い方を身に付けていきたいですね。

では、引き続き健康に気を付けながら健やかにいきましょう。



雲南市立病院職員 現在募集中!!

◇試験区分、採用予定人数および受験資格

採用は看護師、薬剤師は令和6年度中または、令和7年4月1日の予定です。言語聴覚士、一般事務職は、令和7年4月1日の予定です。

試験区分	採用予定人数	受験資格
看護師	若干名	昭和59年4月2日以降に生まれた方で、看護師の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
薬剤師	若干名	昭和59年4月2日以降に生まれた方で、薬剤師の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
言語聴覚士	1人	平成6年4月2日以降に生まれた方で、言語聴覚士の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
一般事務職（行政職）	若干名	平成7年4月2日以降に生まれた方で、高校卒業程度の学歴を有する方

◇会計年度任用職員（フルタイム・パート）

職 種	募集人数	資格等
看護師	若干名	看護師免許を有する方
調理師（員）	若干名	
看護補助者	若干名	

※詳細をハローワークに掲載しています。

募集期間、試験日時などの詳細は、雲南市立病院ホームページ（<https://unnan-hp>）に掲載しているほか、雲南市立病院 総務課人事係（TEL：0854-47-7532）までお問い合わせください。

マイナンバーカードの保険証利用 （マイナ保険証）について



令和6年12月2日から現行の健康保険証は発行されなくなり、マイナ保険証が基本となりました。

令和6年12月1日より前に発行された健康保険証は最長1年間、その有効期限が切れるまで使えます。お手元の健康保険証の有効期限をご確認ください。

健康保険証の有効期限が切れたあとは、「資格確認書」が交付されます。ただし、マイナ保険証を持っていない方に限定されます。「資格確認書」は今の健康保険証と同じように医療機関の窓口で見せるだけで使えます。

マイナンバーカードでの保険資格確認

①確認方法

現行の健康保険証による保険資格確認は、1ヵ月に1回、診察終了後、4番窓口で行っていました。今後マイナ保険証での保険資格確認は、**毎回、受け付け時に、再来受付機横**に設置してある顔認証付きカードリーダーで、患者さん自身で行ってください（確認方法が分からないときは、病院スタッフに声を掛けてください）。

②カードリーダーの設置場所



③受け付けの順番



④カードリーダーの使用方法



ご存じですか？ 適切なお酒の量と付き合い方

（参考資料：厚生省「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」）

年末年始は飲酒の機会が増える季節です。お酒は適量であればストレスや緊張を和らげ、血行を良くするなどの効果があります。しかし、適量を超えると糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病やがんの原因となり、さらには依存症になってしまうなど心身に悪影響を及ぼします。お酒を推奨するものではありませんが、飲むときは節度を守って楽しい飲酒にしましょう。

◆適切な飲酒量とは

心身に影響を与えるのは飲んだお酒の種類や量ではなく「**純アルコール量**」です。1日の適度な飲酒量は純アルコールで**20g**程度とされています。年齢や性別、体質の違いによって影響が異なるため、女性や高齢者、少量の飲酒でも顔が赤くなる、気分が悪くなるような方はさらに少ない量を推奨されています。

◆お酒を飲むときのポイント



- ・自分で決めた飲酒量を守って楽しむ
- ・飲酒の前、飲酒中に食事を摂る
- ・飲酒の合間に水や炭酸水を飲む
- ・少しずつゆっくり飲酒する
- ・1週間のうちに飲酒しない日をつくる
- ・飲酒後はしっかり水分を摂り、入浴や運動は控えてゆったりと過ごす

◆自分の飲酒量やアルコールの依存度を詳しく知りたい方はこちら

「AUDIT」WHO作成のスクリーニングテスト（久里浜医療センターのホームページより）
<https://kurihama.hosp.go.jp/hospital/screening/audit.html>



（二次元バーコード）



【純アルコール20gのお酒の量の目安】

酒 類	アルコール度数	純アルコール20g相当
ビール	5%	500ml
酎ハイ	7%	約350ml
ストロング缶	9%	約280ml
日本酒	14%	180ml（1合）
ワイン	14%	180ml
焼酎	25%	100ml
ウイスキー	42%	60ml

純アルコール摂取量が男性40g、女性20g以上を超えると生活習慣病のリスクが高まるといわれています。



令和6年10月30日（水）、札幌市で開催された第83回日本公衆衛生学会学術総会において、本市での健康づくりの取り組み成果に関する研究発表を行いました。この研究は、令和2年度から5年度まで島根県のモデル事業（しまね健康寿命延伸強化事業）の一環として大東町幡屋地区の皆さんとともに取り組んできた「元気で長生き！幡屋減塩プロジェクト」の効果検証の成果をまとめたものです。担当保健師を中心に、雲南保健所、東京大学、島根大学、当研究所からなる共同研究チームを構成することで、このプロジェクトの効果を学術的かつ専門的な観点から分析して評価をしました。

日本公衆衛生学会で研究発表



※この二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると研究所ホームページが閲覧できます。



参加者（中央）からの質問に答えている様子（右：筆頭発表者の市保健師、左：研究所員）

主な結果として、地域ぐるみの減塩の普及啓発で明らかになった減塩効果が認められ、特に60代女性で効果的だったことが分かりました。このように地域レベルで減塩に成功した研究事例は限られており、ポスター発表（写真）時には多くの参加者から「なぜこのような効果が得られたのか」といった質問が飛び交いました。今回の研究から、減塩のための食環境づくりの推進は、地域住民の減塩に有効である可能性を示すことができました。こうした成果を踏まえ、現在、関係部局と連携しながら、全市的な減塩促進の取り組みにも着手しています。引き続き研究所では、確かな研究成果に基づく健康づくりの推進に力を入れていきます。

研究成果に基づく健康づくり活動

わが家のHOPE

1月で満1歳おめでとう



おがわ れい
小川 蓮生ちゃん（大東町）

1歳のお誕生日おめでとう🎂
これからもたくさんの笑顔でみんなを癒してね🌟 大好きだよ❤️



こやま ふと
小山 風翔ちゃん（大東町）
きょうへい りな
恭平さん・里奈さんのお子さん

1歳のお誕生日おめでとう🎂
可愛い笑顔にいつも癒されてるよ🌟
これからも元気にすくすく育ててね😊



ぬいべ あさひ
縫部 旭ちゃん（大東町）

お誕生日おめでとう❤️ 生まれてきてくれてありがとう😊 お兄ちゃんと仲良く元気に大きくなってね❤️ 大好きだよ❤️



ふくしま なこ
福島 菜心ちゃん（木次町）
まさき ゆい
正樹さん・由衣さんのお子さん

生まれてきてくれて、無事に大きくなってほんとーに嬉しいよ！
1歳のお誕生日、おめでとう🎂



2月で満1歳（令和6年2月生まれ）のお子さんを募集！

写真に①お子さんの名前（ふりがな）、②お子さんの誕生日、③保護者の名前（ふりがな）、④保護者の名前の掲載希望の有無、⑤住所、⑥電話番号、⑦コメント（40字程度）を添え、郵便またはE-Mailで**1月8日（水）**までに広報広聴課へ送付ください。

郵送される場合の宛て先

〒699-1392 雲南市木次町里方 521-1
雲南市役所広報広聴課「わが家のHOPE」係

E-Mailを送られる場合の宛て先

kouhoukouchou@city.unnan.shimane.jp
（タイトルは「わが家のHOPE」としてください。）

【問】広報広聴課 Tel0854-40-1015

※スマートフォンで撮影される場合、顔のアップを撮影されると枠にきれいにおさまらないことがありますのでご注意ください。

※市ホームページおよび子育てポータルサイトにも「わが家のHOPE」を掲載します。

※お送りいただく個人情報は「わが家のHOPE」以外の目的には使用しません。

※郵便物またはメールが届きましたら、広報広聴課から「到着確認」の連絡をします。投稿後、当課から連絡がないときは問い合わせください。

子育てポータルサイト

ゆっくり、子育て。雲南市

子育て情報をひとまとめにしたサイトです。ぜひ、活用ください。
<http://kosodate-unnan.jp> または、右記の二次元コードから



お知らせ

おめでとうございました

雲南市に次のご寄附をいただきまして。厚くお礼を申し上げます。

寄附金

●秋の叙勲
旭日単光章
中小企業振興功労により
佐藤 貞之さん(木次町)
◎危険業務従事者叙勲
瑞宝単光章
警察功労により
郷原 敏夫さん(木次町)
◎島根県各種功労者表彰
交通安全功労
交通安全功労
景山 正純さん(木次町)
農林水産功労
立石 幸さん(吉田町)
商工功労
炭谷 明さん(三刀屋町)
教育功労
佐藤 茂さん(三刀屋町)

毎月19日は食育の日

産地を応援しよう

地域でとれた農林水産物や被災地食品等を消費することで、食を支える農林水産業や地域経済の活性化、環境負荷の低減につなげましょう。

健康推進課 Tel0854-40-1045

突然の停電に備えましょう

防災安全課
Tel0854-40-1027

これからの時期、降雪による倒木、電線への着雪などで停電が発生することがあります。突然の停電で慌てないよう事前に準備をお願いします。停電の際は落ち着いて灯りを確保し、近所も停電してないかどうか確認してみましよう。自宅だけの場合は自宅の設備の不具合の可能性が高いです。確認方法を家族などで話し合っておく必要があります。

スマートフォンでの確認が便利

詳しい状況が確認できます。

※電話は込み合い、つながりにくいことがあります。

（フリーダイヤル）
Tel0120-311-957

中国電力出雲ネットワークセンター
https://www.energia.co.jp/nv/safety/teiden/index.html

【問い合わせ先】
中国電力出雲ネットワークセンター
Tel0120-311-957

（フリーダイヤル）
Tel0120-311-957

※電話は込み合い、つながりにくいことがあります。

■スマホでの確認が便利
スマートフォンアプリで詳しい状況が確認できます。

毎月第3日曜日は

うなん家庭の日

家族で取り組める活動を市公式のfacebook、LINEアカウントで配信中！

1月19日(日)

社会教育課 Tel0854-40-1073



市役所からのお知らせ

おめでとうございました

株式会社ネスター(加茂町)
小林 敏雄さん(木次町)

民生委員・児童委員の交代

健康福祉総務課
Tel0854-40-1041

令和6年12月1日付けで、次の方が厚生労働大臣から民生委員・児童委員に委嘱されました。

狩野 保さん(大東町)

【担当区域】
大東町新庄(新庄西、新庄東、新庄南、グランデ4、グランデ5)

【退任者】
日野俊二郎さん(大東町)
令和6年10月8日まで

特設人権相談所の開設

人権センター
Tel0854-42-1767

出雲人権擁護委員協議会と松江地方事務局出雲支局では次のとおり特設人権相談所の開設をします。

毎日の生活の中で、悩み事や困り事はありませんか。相談は無料で、秘密は守られます。気軽にご相談ください。

【大東町】
開設日…2月5日(水)
時間…10時から正午まで
場所…大東総合センター

2025年 農林業センサスの実施

広報広聴課
Tel0854-40-1015

農林水産省および島根県、雲南市では、2月1日現在で「2025年農林業センサス」を実施します。

この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される大切な調査です。

市内の農家や林家をはじめ、すべての農林業関係者を対象に調査を行います。皆さんの自宅や会社などに調査員が調査に伺いましたら、ご協力をお願いします。

市内の
チャレンジを
応援して
ください!!

地域おせっかい会議@三刀屋

地域の人たち同士が仲良くなれるゲーム

～いつまでも元気で楽しく暮らせる関係づくり～

暮らしの身近な場所で、市民の方発案での“おせっかい会議”が開催されています。11月5日(火)は、多世代交流施設ほほ笑み(三刀屋町)で三刀屋高校生が発案者として実施し、普段なかなか出会うことがない多世代の地域住民の皆さん7人が参加しました。

三刀屋高校生が「いつまでも元気で楽しく暮らせる関係づくり」をテーマに、地域住民と交流する探究活動の一環としておせっかい会議を行いました。学生たちは、ジェスチャーゲームや文字並べ替えゲームなど、年齢や性別を問わず楽しめる内容を考案し実践しました。自らインストラクター役を務めて初心者でも気軽に参加できるように分かりやすくルールを説明し、協力し合える仕組みを盛り込むことで参加者同士の自然な会話が促され、笑顔あふれる場となりました。

地域住民の皆さんは久しぶりの再会や新たな交流の機会を得て、心と体の元気づけと世代を超えたつながりが深まる機会となりました。

【参加した方からの声】

参加者A「簡単に面白くてとても楽しいゲームでした。また今度集まりがあるからやってみたいです」

参加者B「若い世代とゆっくり話す機会をもて嬉しかったです。自分には(若い世代へ)伝えたいことがこんなにたくさんあるんだということに気付きました」

発案者の方「自分たちが考えたゲームで一緒に楽しめたのが嬉しいです。みんなが仲良くなるきっかけになるといいな」

【問い合わせ先】 政策推進課 Tel0854-40-1011・おせっかい会議事務所 Tel0854-47-7272



文字並べ替えゲームで脳トレしながら一緒に遊びました!

地域おせっかい会議とは

あなたの「得意」や「やりたい」を生かして、誰かの心と身体の元気を応援できる場です。あなたのおせっかいも募集中です。気軽にお問い合わせください。

国際交流員(CIR)スーキ・パチェコ・ジャン・ポールの異文化交流コーナー

マイストーリーズ My Stories

第37話『年末年始』

昨年(2024年)の年末は家族に会えなかったのが、中南米が恋しかったです。

昨年11月に県外研修会に行った時に「今週は和食を休憩して、和食以外を食べよう」と思い付き、横浜市で5日間グルメ巡りをして、メキシコ料理を2回食べました。アイルランド人とフランス人の国際交流員と中南米の味と一緒に楽しんでいると、「ね、ジャン、お正月の予定が空いていたら、私たちお金を出すから、ベネズエラ料理作ってくれない」と聞かれたのです。

とてもうれしい提案でした。実家で家族と過ごせない中で、友達ぐるみの集まりでベネズエラ料理を作ってもらえることに心が温もりでいっぱいになりました。

里帰りせずにクリスマスやお正月を過ごすのは初めてではないですが、海を隔てた遠い国に引っ越して以来、友達との時間や故郷の味(およびそれに似た味)もかなり癒しになっています。

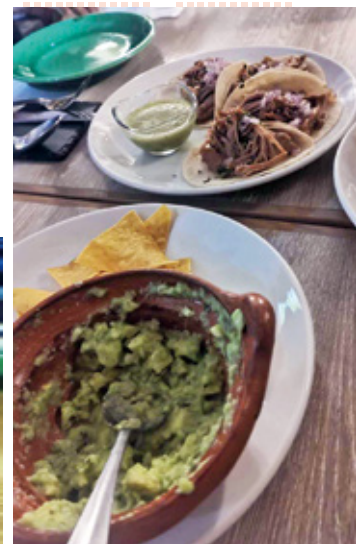
愛しいベネズエラ料理ではなかったですが、懐かしい気持ちになれてよかったです。



グルメ巡りでは、タコスが出たら電光石火の勢いで食べきってしまったので、友人が撮ったものを借りました。
撮影：㊦アンジ・スワン ㊦ヘザー・ケリー



Happy New Year
うなん
Unnan!



暮らし・手続き

単独処理浄化槽やくみ取り便所の方は下水道への接続を！

下水道課

TEL 0854-4213471

建物の所有者は、下水道が使用できるようになった日（供用開始日）から、遅滞なく排水設備を設置して、下水道へ接続することが下水道法で義務付けられています。

◇下水道に接続すると、悪臭や害虫の発生を抑え生活環境がよくなります。

◇側溝や河川がきれいになり、自然環境を守ることにもつながります。

下水道の役割をご理解いただき、清潔で住みよい街にするため、単独処理浄化槽やく

今月の税金

- 市県民税・森林環境税（第4期）
 - 国民健康保険料（第7期）
 - 後期高齢者医療保険料（第7期）
- 納期限は1月31日(金)です。

口座振替の方は、前日までに残高を確認してください。

み取り便所の方は下水道への接続をお願いします。

申告準備

要介護認定者の障害者控除認定書の発行

長寿障がい福祉課

TEL 0854-4011042

介護保険の要介護認定を受けている方は、令和6年12月31日現在の認定状況により、所得税法や地方税法上の障害者控除を受けられる場合があります。

■認定の基準

所得税法や地方税法に基づき、次の基準により「障害者控除」または「特別障害者控除」の対象者であることを認定し、認定書を発行します。ので、確定申告の際に提示してください。

※要介護認定を受けていた方が令和6年中途で死亡された場合は、死亡日時点で有効な認定状況により判定します。

■「障害者控除」の対象者

介護度が要介護1から要介護5までの方で介護保険の要介護認定に係る主治医意見書

おむつ代の医療費控除

長寿障がい福祉課

TEL 0854-4011042

傷病によりおむね6カ月以上にわたり寝たきりで、医師の治療を受けている方のおむつ代は、医療費控除の対象となります。

■医療費控除に必要な書類

おむつ代の医療費控除を受けようとする場合、確定申告の際に次のいずれか一方の書類が必要になります。
(1)医師が作成し交付する「おむつ使用証明書」
(2)雲南広域連合長が無料で交付する「おむつ代医療費控除に係る確認書」

※(2)は介護保険の要介護認定に係る主治医意見書の記載内容が一定の要件を満たしている方が対象です。

■「おむつ代医療費控除に係る確認書」の交付対象者

要介護認定に係る主治医意見書の内容が次の要件を全て満たしている方
①「障害高齢者の日常生活自立度」が「B1、B2、C1、C2」のいずれかであること
②「失禁への対応としての力

マイナ保険証をお持ちでなくても、医療を受けられます。

令和6年12月2日に、現行の健康保険証は新たに発行されなくなり、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行しました。
マイナ保険証への切り替えがお済みでない方も、保険者から申請不要で交付される「資格確認書」でこれまでと同じように保険診療を受けられます。
今お持ちの保険証は有効期限まで利用できます（最大令和7年12月1日まで）。有効期限が切れる場合でも必要な方には「資格確認書」が交付されます。

●マイナ保険証をお持ちでない方

申請不要で保険者から届けられる「資格確認書」で保険診療を受けられます（資格確認書送付のタイミングは加入している保険者へお問い合わせください）。

●令和7年7月末までに新たに後期高齢者になった方

申請不要でマイナ保険証をお持ちの方へも、お持ちでない方へも「資格確認書」をお届けします。

●マイナ保険証を持っているが、マイナ保険証での受診が困難な方（障がいがある方など）

保険者へ申請いただくことで「資格確認書」が交付されます。

診療履歴に基づいた、より良い医療が受けられるなど、便利で安全なマイナ保険証への切り替えをご検討ください。マイナンバーカードをお持ちの方は、顔認証付きカードリーダーがある、医療機関や薬局の受付でもマイナ保険証の利用登録ができます。

また、雲南市ではマイナンバーカードを作りたい方へさまざまな申請サポートを行っています。詳しくは市民生活課にお問い合わせください。



←マイナ保険証について詳しい情報はこちらから検索（政府広報 マイナ保険証）



【問】市民生活課 TEL 0854-40-1031

子育て・保健・福祉

定期予防接種を受けましょう

予防接種対策室

TEL 0854-4011043

左記の定期予防接種の対象となる方に個別に通知しています。

- ・麻しん風しん2期
 - ・日本脳炎2期
 - ・2種混合
 - ・HPV（ヒトパピローマウイルス感染症）
- 定期接種の期間は限られていますので、早めに接種を受けましょう。



募集

市営・県営住宅の入居者募集

建築住宅課

TEL 0854-4011065

◆市営住宅など

【募集期間】1月6日(月)から1月14日(火)

17時締め切り

【募集団地】

1月1日(木)に市ホームページ、1月6日(月)に島根県住宅供給公社ホームページへ掲載します。



(市ホームページ)

【決定方法】

選考により入居者を決定します。

◆県営住宅、公社定住促進賃貸住宅

随時募集しています。

【問い合わせ・申込先】

雲南住宅管理事務所
8時30分から18時まで
(土・日・祝日を除く)
TEL 0854-477151

日本一短い「感謝」の手紙 作品募集

社会教育課

TEL 0854-4011073

日頃の感謝の気持ち、優しい気持ちを手紙にして送ってみませんか。

たくさんの方の感謝の手紙で、「ありがとうの花」を咲かせましょう。

【募集期間】3月14日(金)まで

【応募方法】

応募用紙は、市立図書館、交流センター、市役所教育委員会窓口に設置しています。市ホームページからも取得できます。窓口設置の応募箱に提出いただくか、メール

アドレス (shakai-kyouiku@city.unnan.shimane.jp) まで送信ください。

【その他】

応募作品の一部は市報うんなんなどで紹介します（応募者氏名は掲載しません）。

【問い合わせ先】

雲南市青少年健全育成協議会（事務局・社会教育課）
TEL 0854-4011073

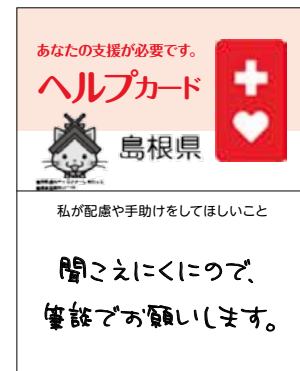
援助が必要な方のためのマークです。

ヘルプマーク・ヘルプカードを知っていますか？

ヘルプマーク・ヘルプカードは、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい方が身に付けることで、周囲に援助や配慮が必要であることを知らせるためのマークです。

外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。

記載例



ヘルプマーク・ヘルプカードの入手方法

長寿障がい福祉課が総合センター市民福祉課・市民サポート課のいずれかにお越しください。

申請書提出後、その場でお渡しできます。手帳などの提示は必要ありません。

ヘルプカードは申請不要です。窓口に置いてあるものをご自由にお持ち帰りください。

ヘルプマーク・ヘルプカード（島根県HPより）

ヘルプマーク・ヘルプカードを見かけた方へのお願い

- (1) 公共交通機関では、席をお譲りください。
外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。
- (2) 駅や商業施設などで、声を掛けるなどの配慮をお願いします。
交通機関の事故など、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。
- (3) マークなどに記載された内容に従って配慮・支援をお願いします。
マークなどには「アレルギーの内容」、「ゆっくり話してほしい」、「体調の急変時には病院に連絡してほしい」等、マークなどを見た方に希望する配慮・援助の内容が記載されています。
- (4) 災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。
視覚障がい者や聴覚障がい者等の状況把握が難しい方、知的障がい者や精神障がい者などで状況判断が難しい方、パニックになってしまう方など自力での迅速な避難が困難な方がいます。



【問】長寿障がい福祉課 Tel 0854-40-1042

大阪学生会館入寮生 （第二期）の募集

学校教育課

Tel 0854-40-1072

（公財）島根県育英会では令和7年度大阪学生会館入寮生（第二期）を募集しています。

【募集施設】

学生会館（大阪府吹田市、個室、定員70人）

【寮費等】

・月額寮費 5万6千円（朝・夕食付き）その他自室電気料金

・入寮費 12万円または15万円（入寮前に納入）

【募集人員】15人程度

【応募資格】

島根県で生活経験があり、大学・短期大学・大学院・高等専門学校（4年生以上）、専修学校（専門課程）に在学中か令和7年度進学希望者（進学先未定でも申し込み可能）

【申込受付期間】

3月31日（月）まで

【願書提出先】

在学する高校または出身高校、大学などの在学者は島根県育英会

【問い合わせ先】

（公財）島根県育英会

Tel 0852-28-1981

「第3次雲南市男女共同参画計画（案）」のパブリックコメント（意見募集）

市の男女共同参画施策を推進するための第3次雲南市男女共同参画計画（案）を取りまとめましたので、市民の皆さんの意見を寄せてください。

寄せていただいた意見は、意見に対する考えを整理して公表します。 ※個別の回答は行いません。

【意見募集期間】1月10日（金）から2月10日（月）まで

【縦覧方法】(1) 男女共同参画センター、総合センター
(2) 市ホームページ

【提出方法】所定の様式により、住所、氏名、連絡先を記入のうえ、男女共同参画センターへ持参または郵便、ファクシミリ、メール（word形式のデータ 要添付）で送付してください。

※電話による受け付けは行いません。

【結果の公表】2月下旬（予定）

【問い合わせ・意見提出先】

男女共同参画センター

〒699-1334 雲南市木次町新市3番地 Fax0854-42-1839

☒ danjyokyoudou@city.unnan.shimane.jp

【問】男女共同参画センター Tel 0854-42-5678

地雷撤去のため 書き損じはがき募集

教育総務課

Tel 0854-40-1071

（一財）カンボジア地雷撤去キャンペーンではカンボジアの地雷被害を無くすため、書き損じはがきなどを集めて換金し、地雷撤去団体へ寄付しています。

はがき2、3枚で1㎡の地雷撤去費用になります。

【対象品】

書き損じ・未使用はがき、未使用切手、未使用テレフォニカード、QUOカードなど

【期間】3月31日（月）まで（必着）

【送付先】

〒814-0002

福岡市早良区西

（一財）カンボジア地雷撤去

キャンペーン 宛て

【問い合わせ先】

（一財）カンボジア地雷撤去キャンペーン

Tel 092-833-7575



イベント情報

第4回体力アップ サポートクラス

産業施設課

Tel 0854-40-1093

【日時】1月20日、27日、2月3日、10日、17日、3月3日、10日、17日（全8回）
いずれも月曜日、14時から15時まで

【場所】サンワーク木次

【参加料】5千円（全8回）

【内容】体力の維持や向上を目的に筋力トレーニング、バランス運動、ストレッチなどを行います。

参加者は教室の際、血圧、体組成計測定ができます。

【問い合わせ先】

サンワーク木次

Tel 0854-42-9090

その他

令和6年度 コミュニティ助成事業

加茂総合センター自治振興課

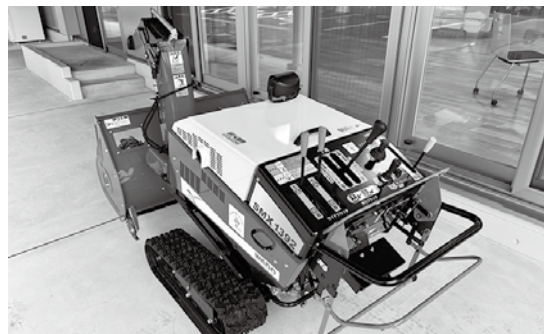
Tel 0854-49-8601

宝くじの助成金（コミュニティ

ティ助成事業）を活用して加茂まちづくり協議会が除雪機1台を購入されました。

◆加茂まちづくり協議会

通学路をはじめ、高齢者など自力での除雪が困難な世帯宅から幹線道路までの除雪を迅速に行うことで、安全安心な生活の確保と地域の連携強化に寄与することが期待されます。



◆コミュニティ助成事業とは

一般財団法人自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源とし、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることで地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するためにコミュニティ組織などが運営する施設や設備の整備に対して助成を行うものです。

図書館だより

市立図書室の利用案内

三刀屋図書室（永井隆記念館内）
電話：0854-45-2239
開館時間：9:00～17:00
年始休館：～1月4日(土)
休館日：毎週月曜日(13日を除く)、
14日(火)、15日(水)

吉田図書室（吉田交流センター内）
電話：0854-74-0219
開館時間：8:30～17:00
年始休館：～1月5日(日)
休館日：毎週土・日曜日、祝日

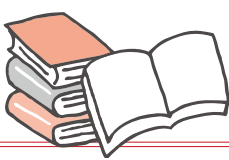
掛合図書センター“陽だまり館”
（掛合交流センター内）
電話：0854-62-0189
開館時間：8:30～17:00
年始休館：～1月6日(月)
休館日：毎週日・月曜日、祝日

市立図書館の利用案内

木次図書館 Tel0854-42-1021 開館時間：10:00～18:00

1月の休館日 毎週月曜日、年始休館：1日(水)～3日(金)、振替休館日：14日(火)、図書整理日：31日(金)
※蔵書点検を行います。臨時休館の期間は26ページを確認してください。

イベント案内 ☆おはなしレストラン 11日(土)(※要申し込み)
0.1.2レストラン(乳幼児向け) 10:15～、
おおきい子レストラン(幼児～小学生向け) 11:00～



市立図書館
ホームページ

大東図書館 Tel0854-43-6131 開館時間：10:00～18:00

1月の休館日 毎週金曜日、年始休館：1日(水)～3日(金)、13日(月・祝)、図書整理日：2月1日(土)

イベント案内 ☆こぐまちゃんくらぶ（わらべうた遊びの会 対象：乳幼児とその家族）
20日(月)10:30～（30分程度）(※要申し込み)

*毎週月曜日午前中（10:00～12:00）は「いいよのじかん」です。

市立図書館
Facebook

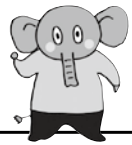
加茂図書館 Tel0854-49-8739 開館時間：10:00～18:00

1月の休館日 毎週木曜日、年始休館：1日(水)～3日(金)、13日(月・祝)、図書整理日：31日(金)

新着の本(抄) 市内図書館どこでも借りることができます。貸し出し中の場合は予約(取り寄せ含む)ができます。各館へ問い合わせください。本の検索には、上記二次元コードの雲南市立図書館ホームページ《蔵書検索》を利用してください。

▼毛利悦子「生きて生きぬいて」▼雲南市立図書館 編「きょうの一冊 vol.3」▼東野圭吾「架空犯」▼宮部みゆき「きたきた捕物帖③」▼村上春樹「午後の最後の芝生」▼金原ひとみ「ナチュラルボーンチキン」▼貴志祐介「さかさ星」▼坂井希久子「赤羽せんべろまねき猫」▼高瀬隼子「新しい恋愛」▼平野啓一郎「富士山」▼宮島未奈「婚活マエストロ」▼小川洋子「耳に棲むもの」▼一穂ミチ「恋とか愛とかやさしさなら」▼藤野千夜「また団地のふたり」▼秋川滝美「きよのお江戸料理日記⑤」▼吉永南央「紅雲町珈琲屋こよみ⑫」▼畠山健二「新本所おけら長屋②」▼丸橋 賢「はじまりの谷」▼ハン ガン「別れを告げない」▼星野 源「いのちの車窓から②」▼杉山桃子「佐藤愛子の孫は今日も振り回される」▼ヨースタイン・ゴルデル「未来のソフィーたちへ」▼立野井一恵「新しい、美しい日本の図書館」▼杉江松恋「日本の犯罪小説」▼ジェイソン・ファゴン「コードブレイカー」▼増田晶文「鳶屋重三郎」▼斎藤道雄「シニアのみんなで大笑いできるゲーム&体操 50」▼能瀬千恵「1日1分で身体が整う首のセルフケア」▼井出留美「おてらおやつクラブ物語」▼坂口恭平「自己否定をやめるための100日間ドリル」▼舩渡川智之「思春期の子の『うつ』がよくわかる本」▼成美堂出版編集部 編「余り毛糸があったから」▼戸垣 裕「米ビジネス」▼内澤旬子「私はヤギになりたい」▼牧野健太郎「ぶらり謎解き浮世絵さんぽ」▼川添 愛、ふかわりょう「日本語界限」▼大山 顕「撮るあなたを撮るわたしを」▼高橋歩唯「母親になって後悔してる、といえたなら」▼西成活裕「東大の先生！文系の私に超わかりやすく算数を教えてください！」

くらしの消費生活窓口



島根県消費者センター
マスコットキャラクター
だまされないゾウくん

その申し込み、定期購入ではありませんか？ 最終確認画面チェックリスト

チェックリスト

- ・定期購入が条件になっていませんか。
- ・継続期間や購入回数が決められていませんか。
- ・支払総額はいくらですか。
- ・契約の際の連絡手段を確認しましたか。
- ・「解約・返品できるか」、「解約・返品できる場合の条件」など、返品特約や解約条件を確認しましたか。
- ・お届け予定日や利用規約の内容を確認しましたか。
 - ★申し込み前に「最終確認画面」をスクロールして、最後まで確認しましょう。
 - ★注文画面に表示された「割引クーポン」などの利用時にも再度確認しましょう。
 - ★最終画面はスクリーンショットで保存しましょう。

ひとこと助言

- ・低価格を強調する広告を見て、1回だけもしくは単品のつもりで注文したら「定期購入」だったという相談が多く寄せられています。特にインターネット通販では、申し込み前に必ず最終画面で上記リストを確認しましょう。
- ・特定商取引法では、サイトの最終確認画面で、価格や申し込みの解除などの重要事項を簡単に確認できる表示を義務付けています。これがなされていなかったり、確認するような表示がなかったりする場合などは、申し込みを取り消せる場合があります。

○困ったときは、一人で悩まずに、すぐに雲南市消費生活センターなど（消費者ホットラインは 局番なしの188）に相談してください。

相談・問い合わせ・出前講座依頼先

雲南市消費生活センター Tel0854-40-1123 Fax0854-40-1039

蔵書点検による臨時休館

市立図書館では、3館で所蔵している約16万冊の資料の状態や並べている場所を確認・整理するため、下記の日程で臨時休館します。また、この期間中に書棚や資料の移動なども行います。ご不便をお掛けしますが、ご協力よろしくお願いします。

【木次図書館】 1月15日(水)～1月30日(木)

【大東図書館】 2月3日(月)～2月16日(日)

【加茂図書館】 2月3日(月)～2月17日(月)

休館期間中の本の返却は返却ポスト、開館している市立図書館、三刀屋・吉田・掛合の各総合センターや、加茂文化ホールラメール・木次経済文化会館チェリヴァホール・三刀屋文化体育館アスパルの窓口をお願いします。

【問】木次図書館 Tel 0854-42-1021 Fax0854-42-2274

大東図書館 Tel・Fax 0854-43-6131

加茂図書館 Tel 0854-49-8739 Fax0854-49-8696

令和7年 雲南市消防団出初式

と き 1月12日(日)

9:30～ 式典
11:00～ 一斉放水(三刀屋川河川敷)

ところ 三刀屋文化体育館アスパル

【問】くらし安全室 TEL0854-40-1027



第3回 雲南市歴史文化講座

豊かな自然に恵まれた雲南市には、さまざまな動植物が存在しています。その中で特に貴重なものは天然記念物に指定され、保護の対象となっています。

今回の講座では、天然記念物「海潮のカツラ」と特別天然記念物「コウノトリ」を取り上げ、それぞれの研究の第一人者による講演を実施します。

と き 2月1日(土) 14:00～16:00

ところ 大東地域交流センター研修室

演題・講師

- ①「海潮のカツラ～その価値と保全対策について」
佐藤仁志さん(NPO法人しまね樹木医会 理事長)
- ②「人とコウノトリの共存・共生を目指して
～全国に広がるコウノトリの現状と課題～」
松本令以さん(兵庫県立コウノトリの郷公園 主任研究員 獣医師)

参加費 無料(参加申し込み不要)

【問】文化財課 TEL0854-40-1075

第18回 雲南神楽フェスティバル

と き 2月2日(日) 10:20開演(開場9:50)～15:15(予定)

ところ 木次経済文化会館チェリヴァホール

入場料 前売券1,000円、当日券1,300円(全席自由・税込) ※高校生以下無料、障がい者割引:100円(本人+介添1人)

順番	団体名	演 目	時 間
①	佐世神楽社中	山神祭	10:20～10:50 (30分)
②	深野神楽保存会	五行	10:55～11:35 (40分)
③	小河内神楽社中	茅の輪	11:40～12:10 (30分)
=休憩=			12:10～13:10 (60分)
④	槻屋神楽保持者会	亥日祭	13:10～13:40 (30分)
⑤	山王寺和野神楽社中	国譲	13:45～14:25 (40分)
⑥	南加茂貴船神楽社中	八戸	14:30～15:15 (45分)

※上演演目・団体・時間については変更する可能性があります。

【問】観光振興課 TEL0854-40-1054

●市報うんなん No.242 2025年1月発行
発行・編集/雲南市役所 政策企画部 広報広聴課
〒699-1392 雲南市木次町里方521-1
TEL 0854-40-1015 FAX 0854-40-1029
✉ unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

人口 34,455人(−59人)

男性 16,687人(−24人)

女性 17,768人(−35人)

世帯数 13,561世帯(−13世帯)

令和6年12月1日現在(先月比)



この印刷物は環境に配慮し、大豆油にかわり米ぬか油を使用したライスインキで印刷しています。